

赤土町散策マップ

～ Welcome to Akatsuchi ようこそ赤土町へ～

常陸太田市



ここ赤土町は、地名通り赤い土壌で、山あいの傾斜地にそば畑が広がっています。山間部で昼夜の気温差の大きい、霧の立ち込める地形が味のよいそばを育てます。この赤土町は、まさにそのような土地です。

畑の水はけが良い赤土町は、そば作りに適しており、昔から米の代用食として葉タバコの後作にそばを作っていました。タバコがこの地域の特産品であったことも大きな土台になっています。タバコの後作にそばを作ることで連作障害を取り除きタバコの残肥をよく吸収します。このように何年も何十年も繰り返し行われてきたことが、そば栽培に力強い畑となっています。



万畑とカシの巨木
源頼朝が金砂城攻めの折に山頂に萬本の旗（萬旗）を立てて陣を張ったことから、この地を万畑と呼ぶようになりましたと伝えられています。



天満宮（赤土鎮守様）
祭神は菅原道真公で、創祀は元禄元年です。山頂には、本殿、拝殿、境内社があり、昭和十二年に造営された優美な御輿が収められています。



水府煙草栽培先覚者の碑
岡崎熊治は明治七年に赤土村に生まれ、煙草栽培を推奨し、全国に先駆け煙草耕作組合を設立。煙草産業の近代化に貢献しました。



長者平からの景色



開花時期 9 月下旬

常陸秋そば・そばの花
赤土は、県の奨励品種である品質の良い「常陸秋そば」の産地として有名です。秋には白く可憐なそばの花が広がりとても美しいです。



開花時期 5 月上旬

クリムソンクローバー
そばの収穫後に栽培。土づくり（肥料）を目的として育てられています。赤土町のカラーでもある赤いクローバーの景観は素晴らしいです。



中組のなかよしの木
この二本の巨木（白檜・杉）は、樹齢約百五十年を経た神木です。二本の巨木の間には大きな丸い瘤があり、名前の由来になりました。

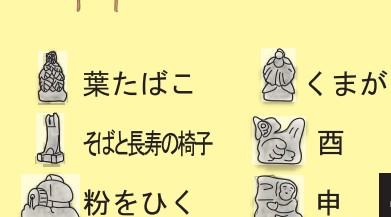
【凡例】

・お宝解説板

・石彫刻



・煙草乾燥場



【距離目安】

300m



赤土町会